

国立社会保障・人口問題研究所 第15回厚生政策セミナー  
(the 15th IPSS Seminar)

# 人口減少時代のジェンダー政策： 日本とアジアの岐路

落合恵美子  
(京都大学)

はじめに

# 本報告の課題

- 新しい社会保障の構築
- 社会政策の新たな方向
  
- 格差の背景にある構造への注目
- 日本およびアジアにおける問題の特性

# 現代日本の政治課題としての 「ジェンダー」と「家族」

- 仙石官房長官の専業主婦発言
- 配偶者控除
- 子ども手当
  
- 「ジェンダー」と「家族」が現代日本社会の構造転換の要であること、しかし構造転換がスムーズに進展していないことを示唆

# 欧米諸国の経験

# 社会政策の転換：欧米諸国の場合

社会政策史の時代区分(20世紀後半以降)

(1) 福祉国家の黄金時代 1945-70s

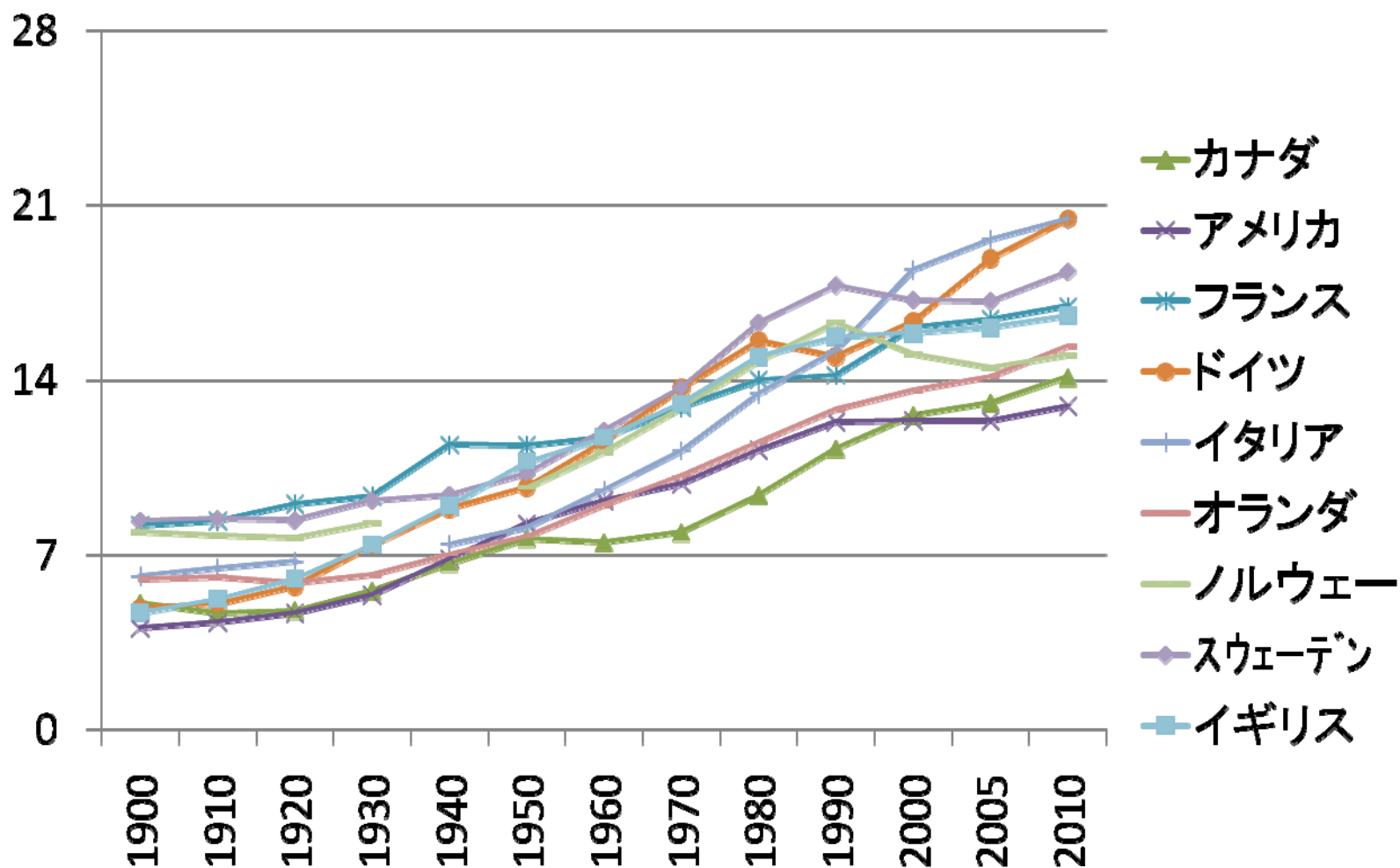
- 「豊かな社会」 格差縮小
- 完全雇用を前提に雇用とリンクした制度設計
- 男性稼ぎ主の所得保障が重点

(2) 経済危機を契機に福祉削減 1970s-2000s

- 新自由主義 格差拡大
- 福祉コストは上昇 失業・高齢者・単身者増加
- 社会的サービスの供給が重要に ケアに注目

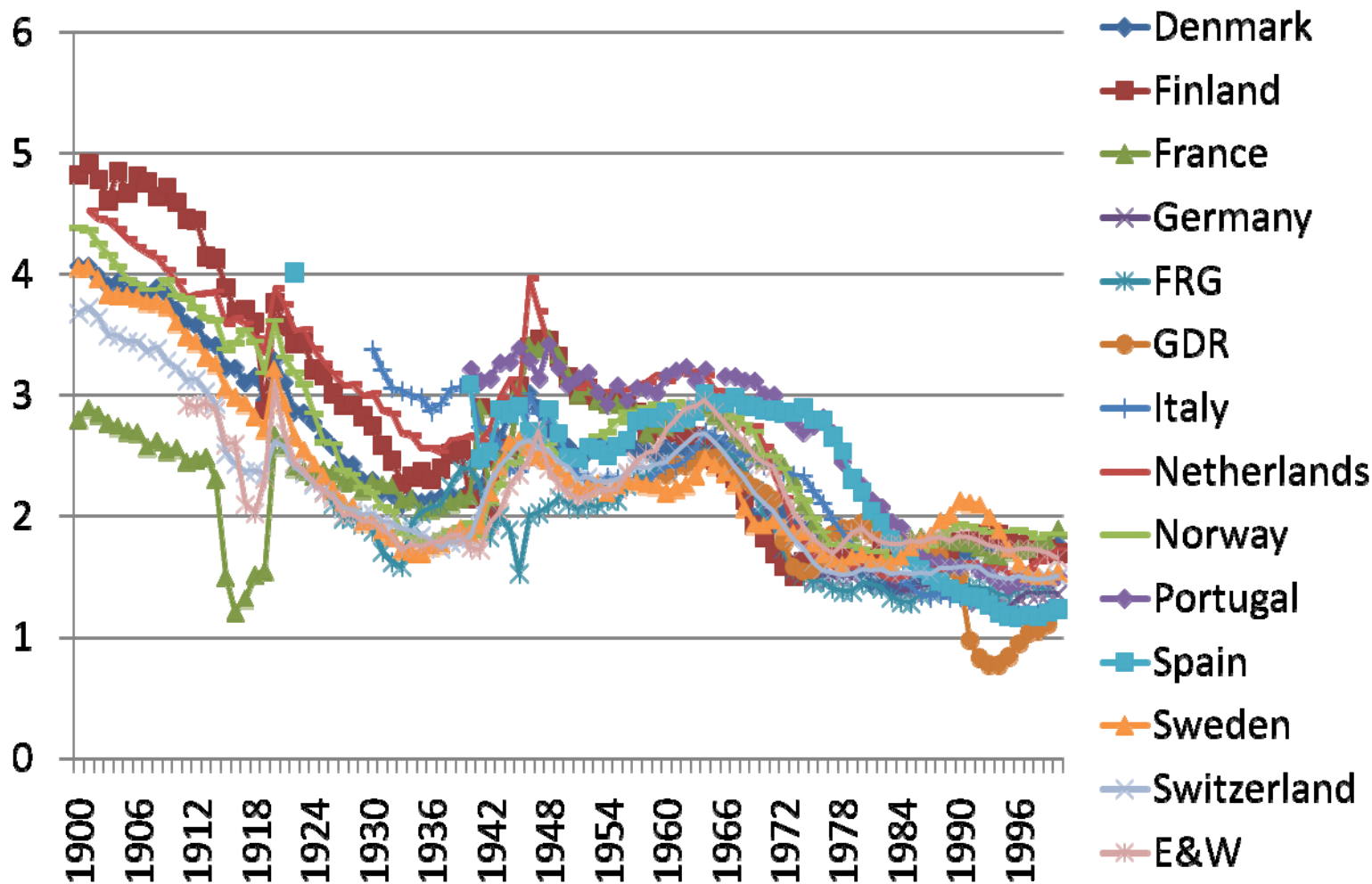
# 人口学的背景：65歳以上人口割合

## 1970-80年代に欧州は高齢社会に突入



# 人口学的背景：2回の出生率低下

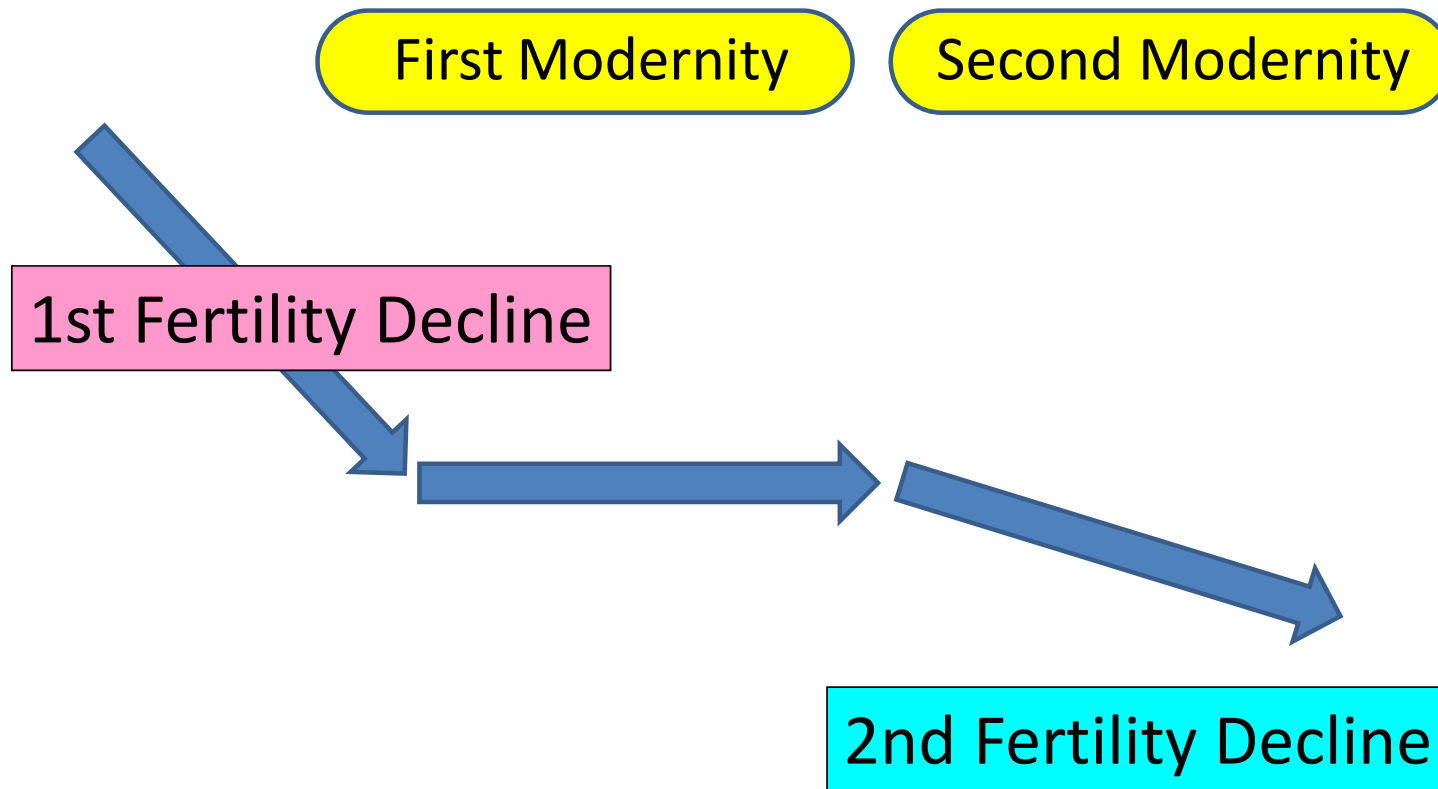
## その間の安定期が福祉国家の形成期と黄金期





# 「第1の近代」と「第2の近代」

「第1の近代」に成立した福祉国家が「第2の近代」に変容



ウルリッヒ・ベックの概念を人口転換と関係づけ翻案

# ジェンダー的背景

(1)の時期・・・ジェンダー分業型近代家族が一般化

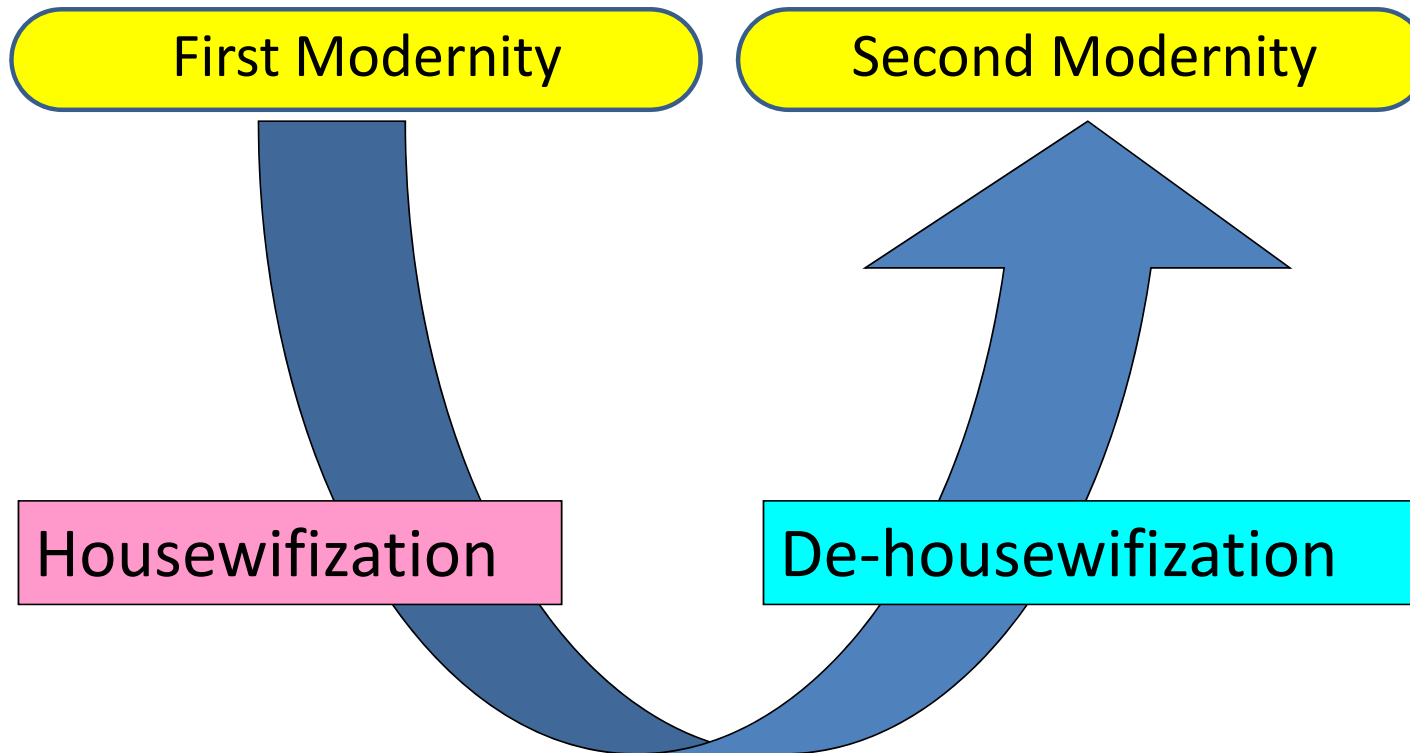
- 男性稼ぎ主/女性主婦(ケアラー)
- 20世紀初期に大衆化 古来不変の家族類型ではない
- 結婚の普遍化(ヨーロッパ型結婚パターン消滅)、出生力転換(2人っ子化)、労働者の生活水準上昇により可能に
- 家族と雇用が前提の社会政策 女性は妻として資格付与

(2)の時期・・・ジェンダー分業の変容/ライフコース多様化

- 経済危機による男性稼ぎ主型家族の危機
- 価値観の変化 若年世代の反体制運動 フェミニズム
- 貧困の女性化 拡大した格差は実はジェンダー問題  
社会政策の前提とした家族減少+ケア労働の過小評価
- ケアの外部化 女性の就労+高齢化

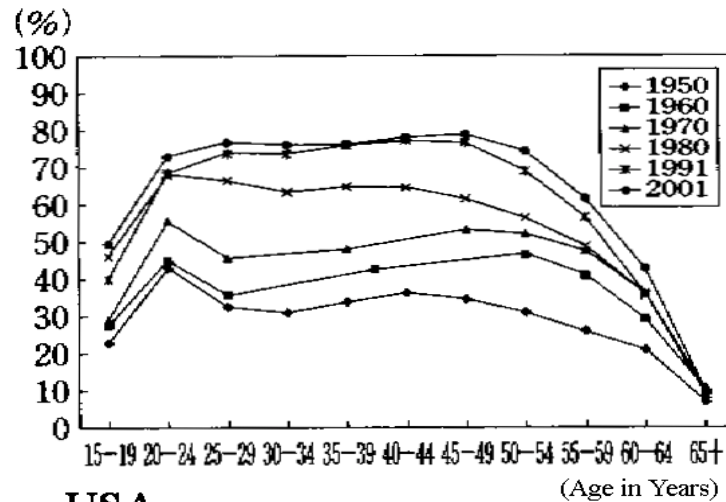
# 「第1の近代」と「第2の近代」

福祉国家の黄金期は近代家族の黄金期(2人っ子と主婦)

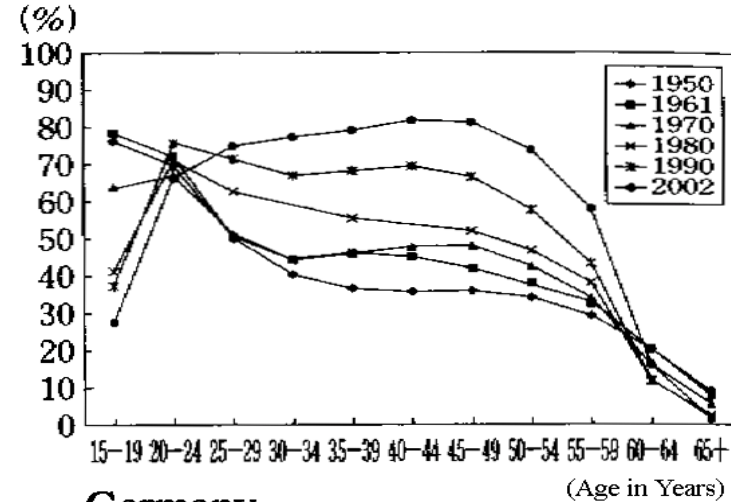


# 「第2の近代」の女子労働力率上昇

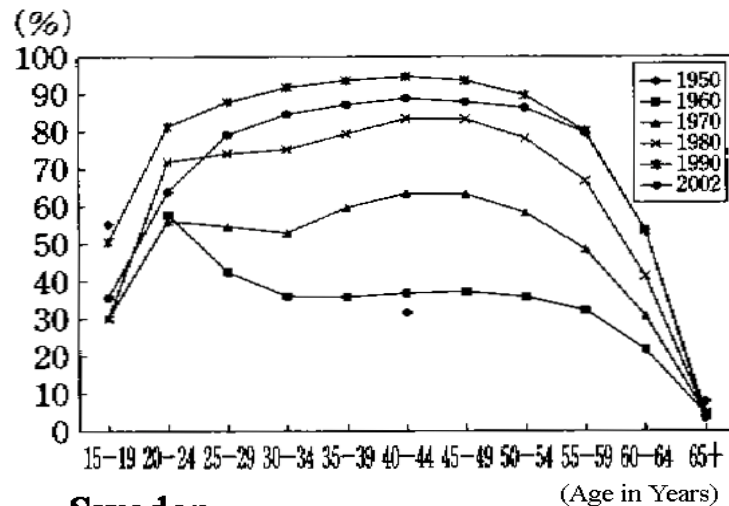
## 1970年代以降の欧州諸国



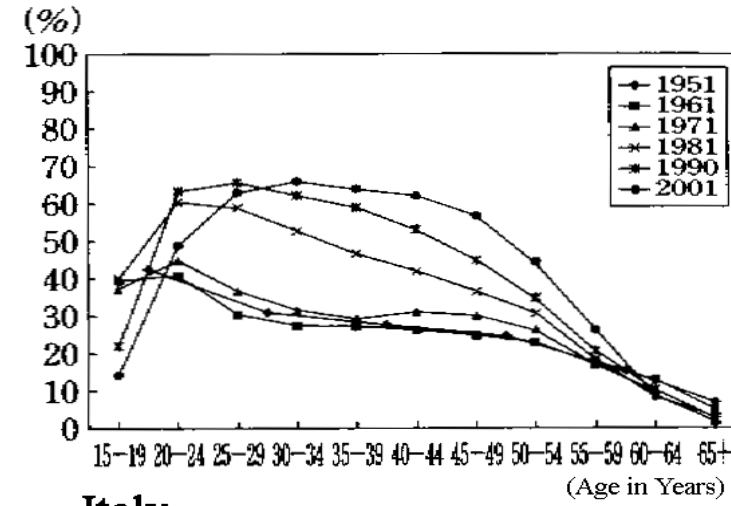
USA



Germany



Sweden



Italy

# 「第2の近代」の社会政策

## ジェンダー主流化

- ジェンダー平等政策・家族政策  
1970-80年代より重点化(削減のみではない)  
社会的サービスの供給
- フェミニスト福祉国家研究 1990年代より
- 有償労働と無償労働(ケア労働含む)のジェンダーによる不均等な配分
- 初期の福祉国家はどこも家族主義だったが、1970年代以降、スκανジナビアでは家族サービスに重点(エスピン-アンデルセン)  
→福祉レジームによる違いが明瞭に

# グローバル化と移民政策

- 国際人口移動転換  
第2の人口転換を迎えた社会では入超に
- 国際人口移動の女性化  
ケア・家事労働、国際結婚のための移動
- 移民政策の転換
- グローバルな正義

# 高齢社会・人口減少社会 の政策的対応

人口構造の変化＝生産年齢人口の減少



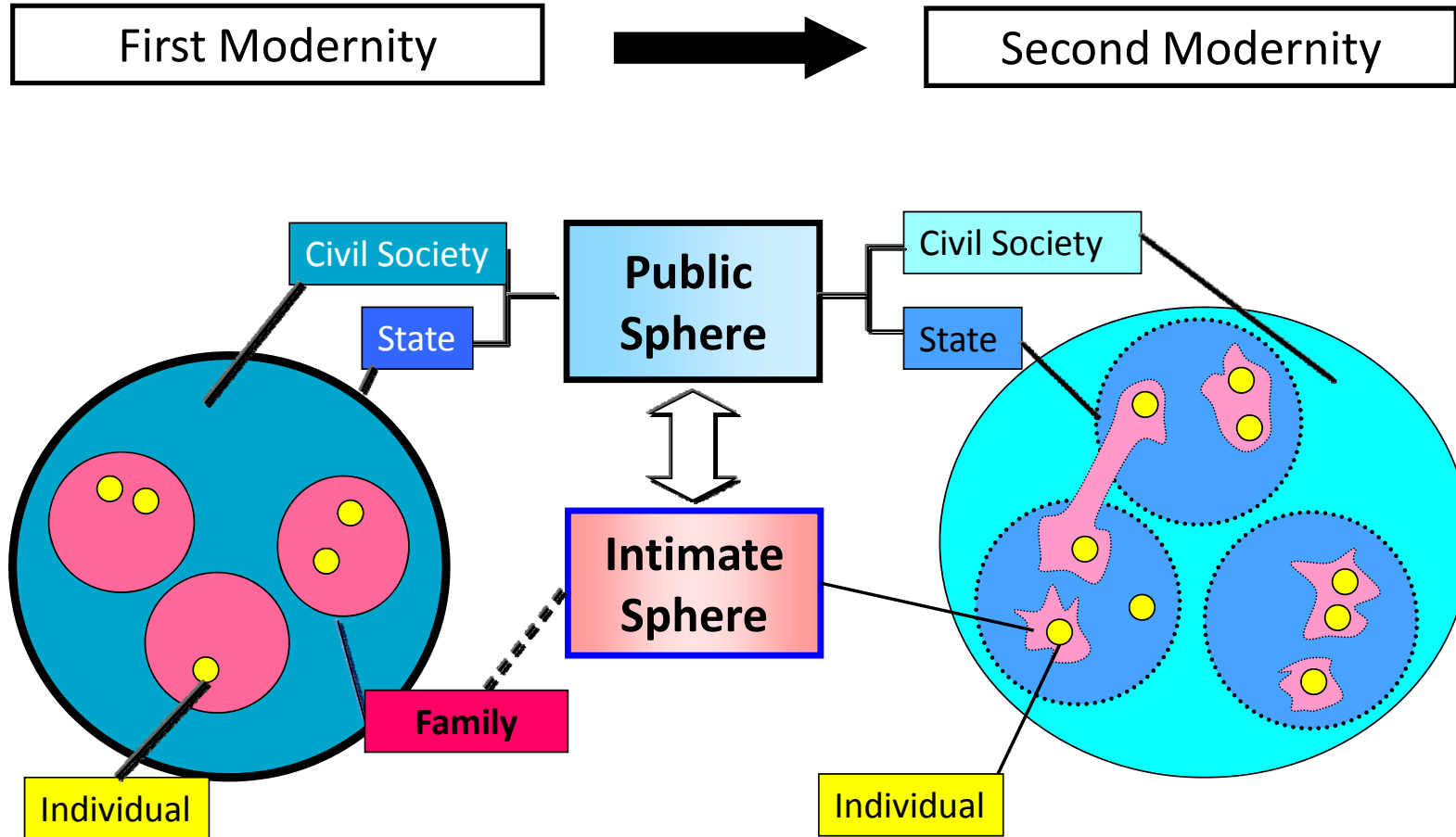
新たなグループの活用

- 女性      ジェンダー      新たな社会政策
- 外国人    グローバル化      新たな移民政策

「第2の近代」の社会変容に適合した政策セット  
としての、より深い意味がある

# 「第1の近代」と「第2の近代」

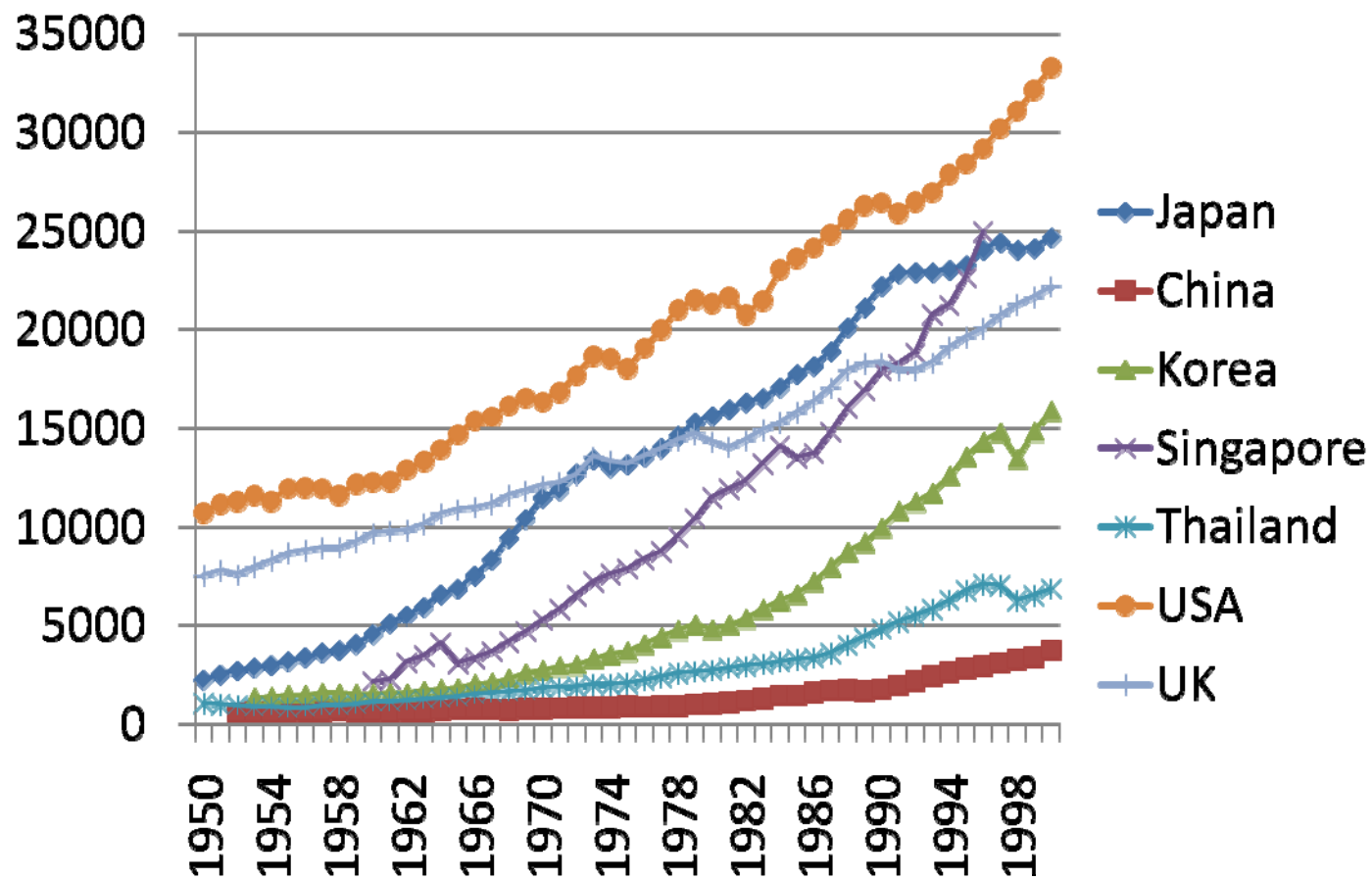
親密圏と公共圏の再編成（個人化とグローバル化）





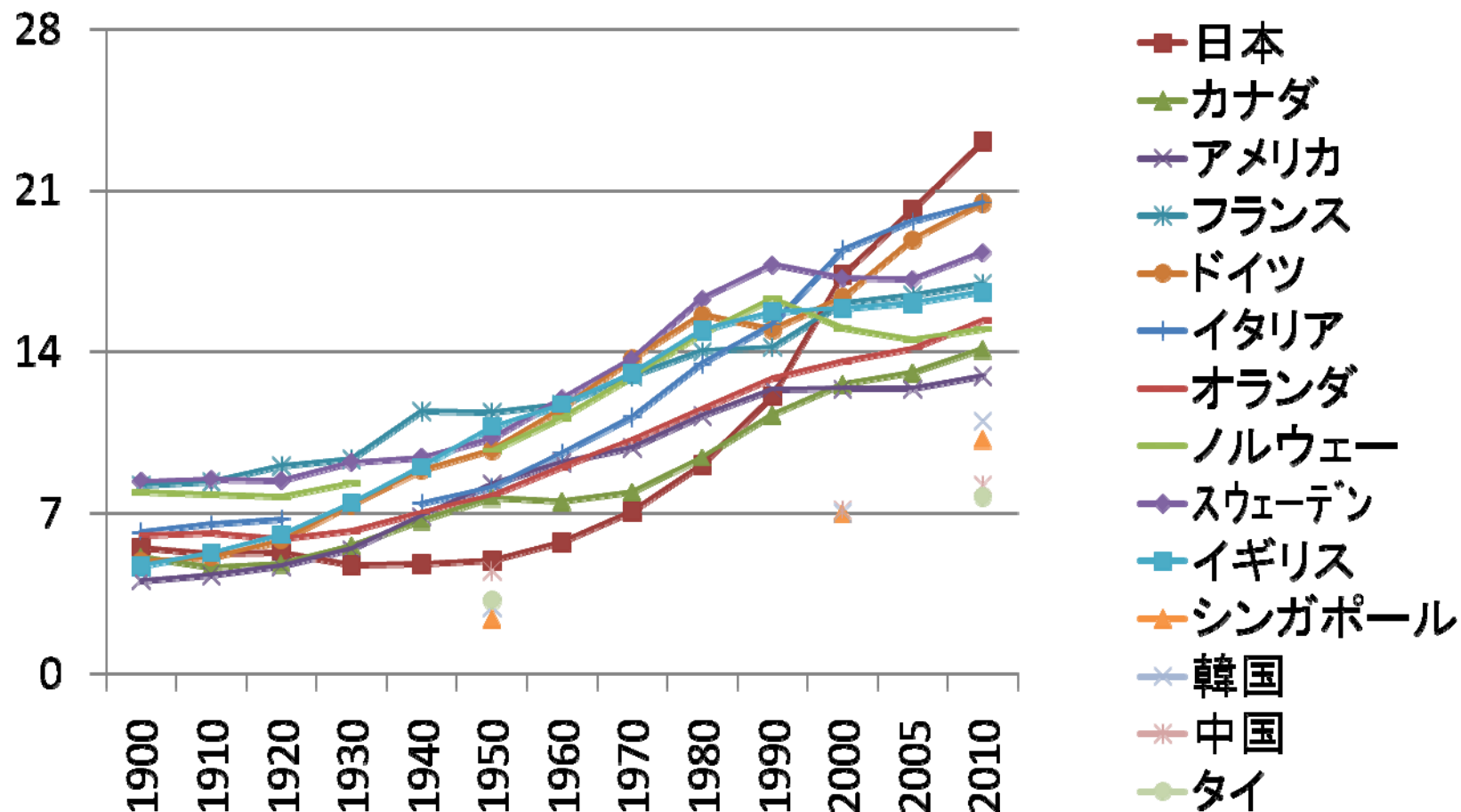
# アジア社会の現在

# 経済的背景：一人当たりGDP

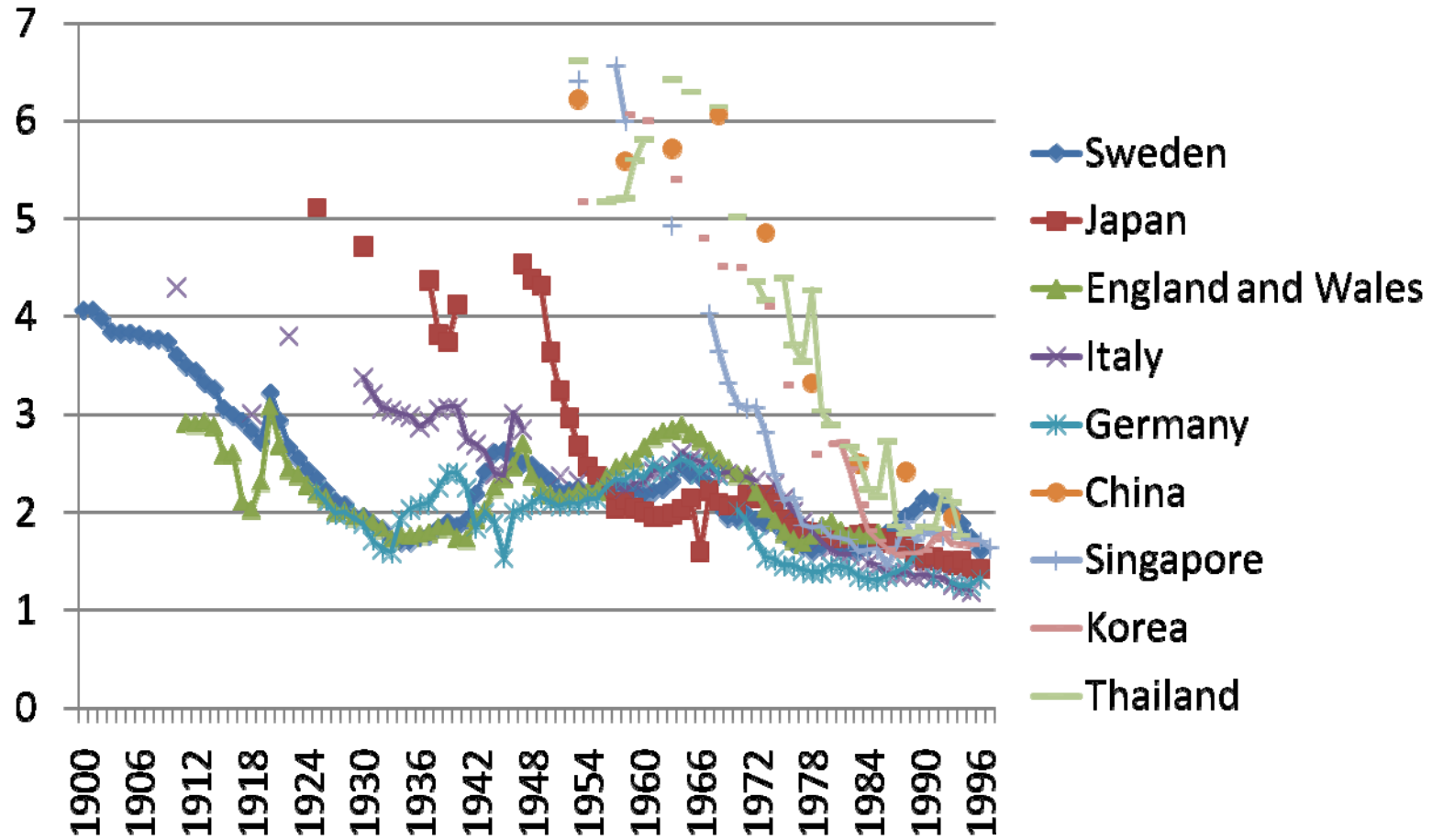


# 人口学的背景：65歳以上人口割合

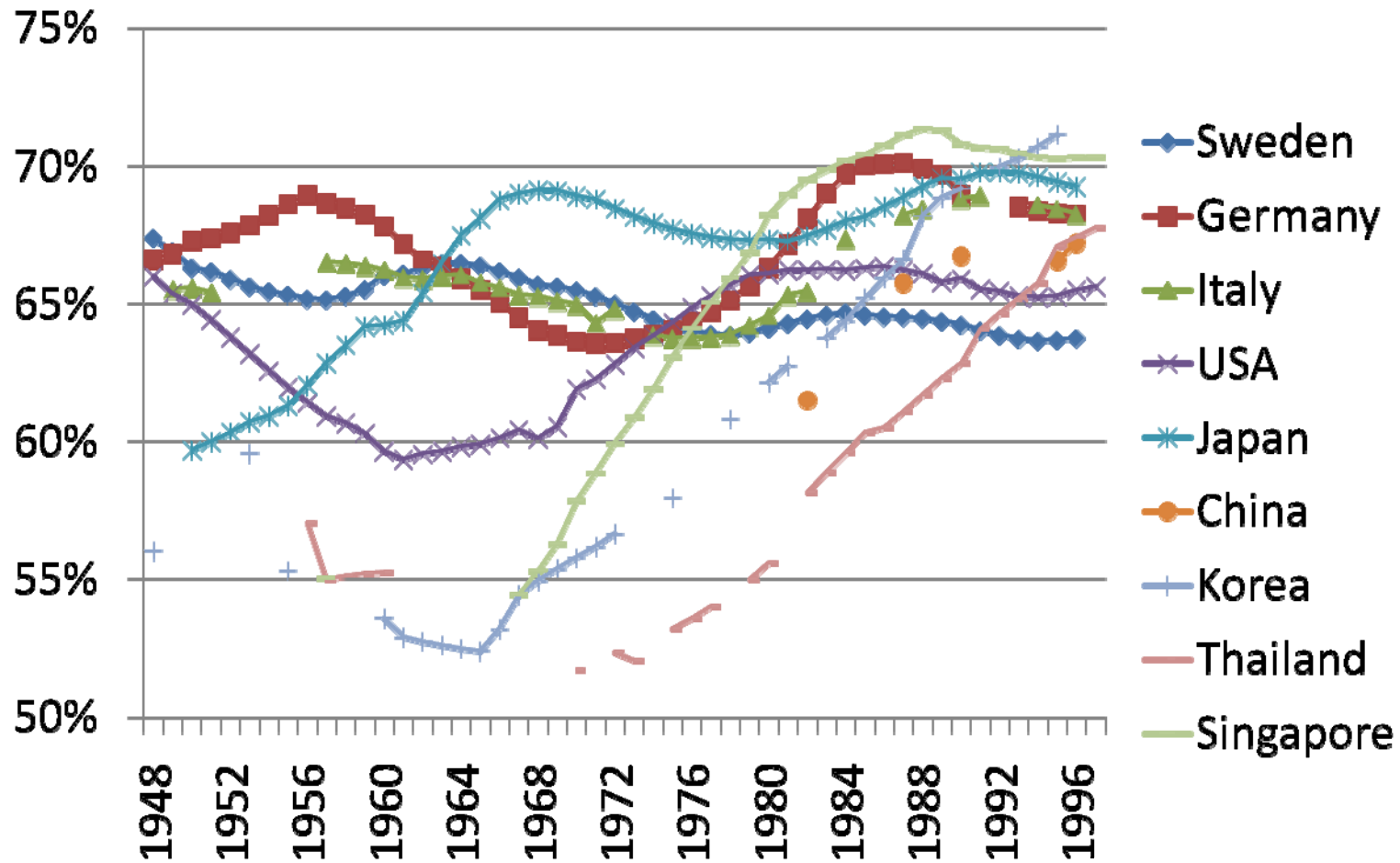
日本は急速に高齢化・他のアジア社会は未だ



# 人口学的背景：出生率低下 日本はヨーロッパとアジアの中間



# 人口学的背景：生產年齡人口割合

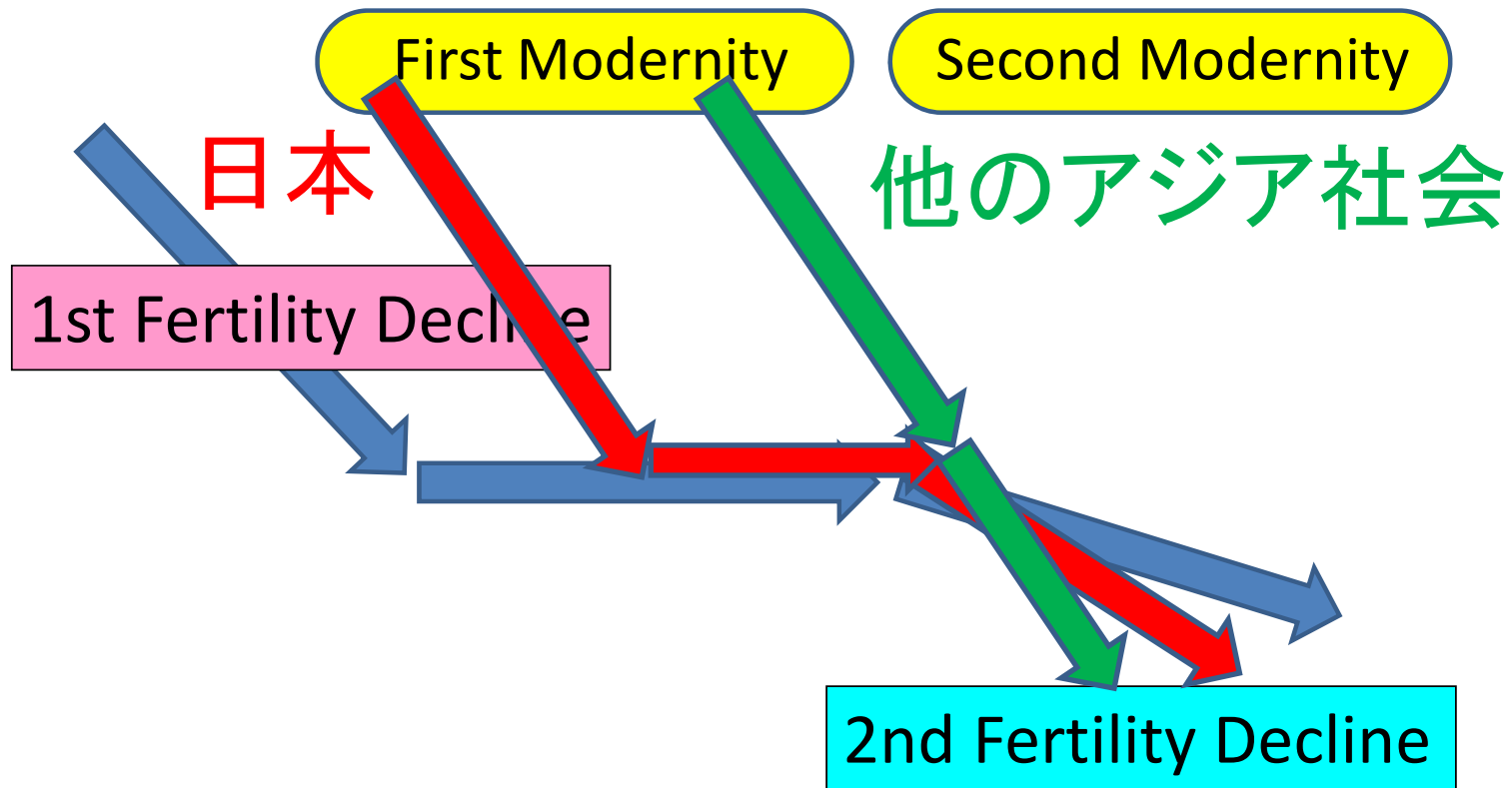


# 圧縮された近代

- アジアの近代化は欧米よりはるかに短期間に「圧縮」されて起きた。欧米では異なる時期に起きた変化が、しばしば同時に重複して起きる。 張慶燮 (Chang Kyung-Sup)
- 出生率の第1の低下と第2の低下の間隔
  - 欧米 半世紀
  - 日本 四半世紀
  - 他のアジア諸社会 なし(連続して低下)

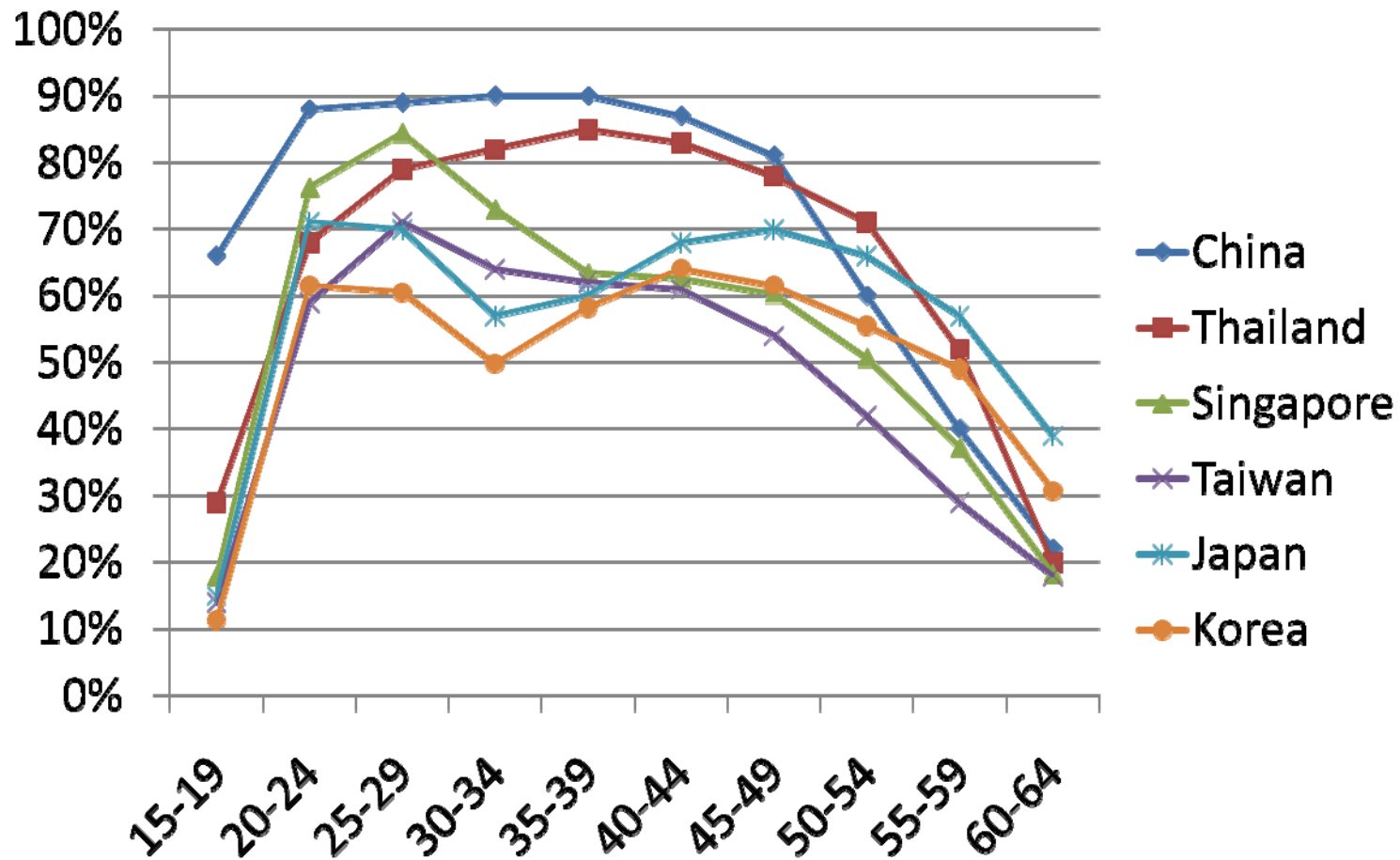
# 「第1の近代」と「第2の近代」

日本と他のアジア諸社会の場合



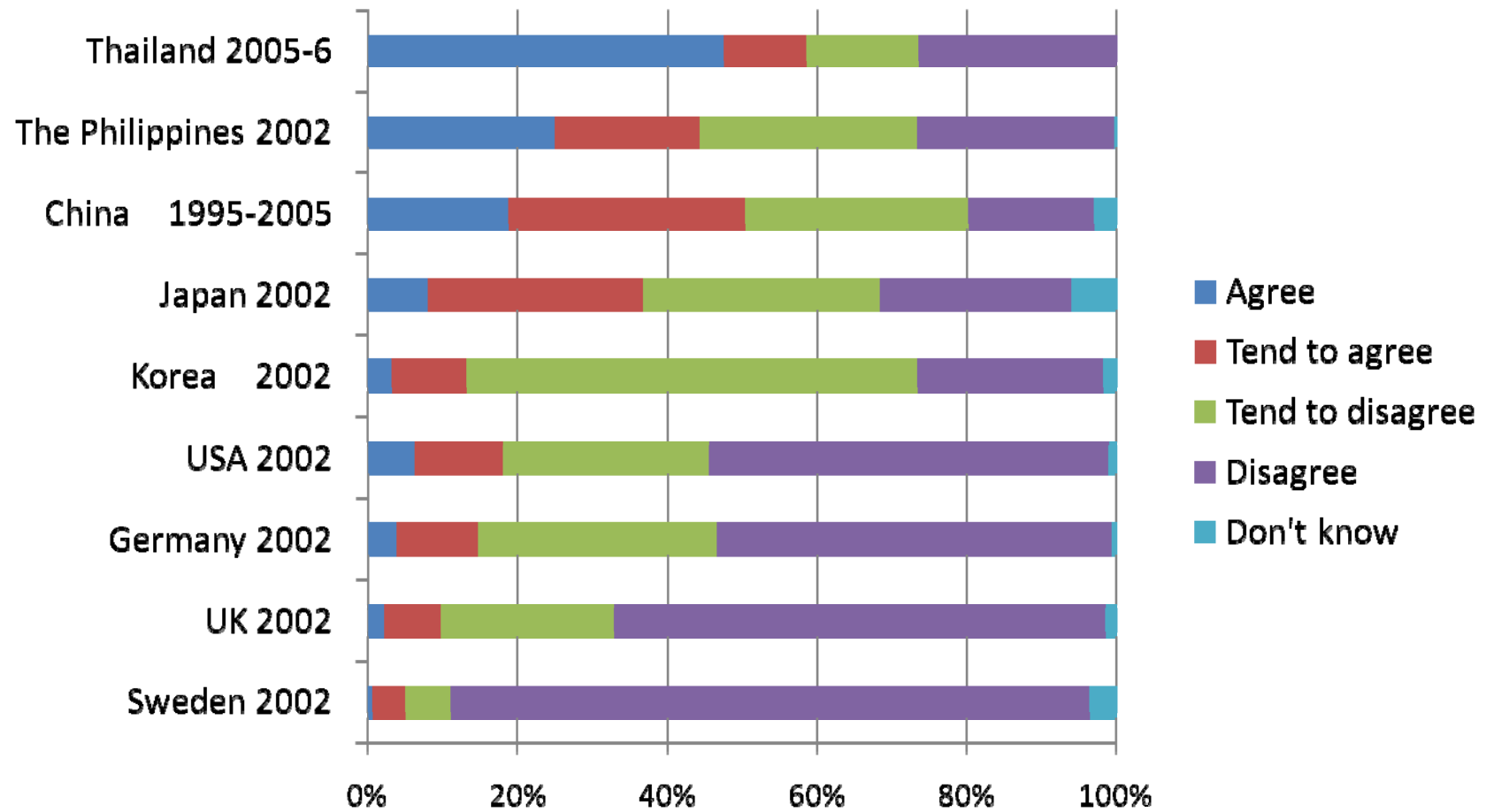
# ジェンダー的背景：多様な実態

## 女性のライフコースの3類型(東・東南アジア)





# ジェンダー的背景：欧米と異なる意識 「男性は外で働き女性は家庭」への賛否



# 現代アジアのジェンダーの複雑性

- 多様な実態およびそれと矛盾する意識
- 女子労働力率の高い社会（中国、タイ、フィリピン）で性別分業肯定・・・変化の方向か
- 主婦化傾向と脱主婦化傾向の並存
  
- 伝統的ジェンダーの多様性 北/南
- 変化の過程の多様性 社会主義社会の存在
- 反対方向の変化の並存 圧縮された近代

# アジアの社会変容と社会政策

## 日本の例

経済的背景 ← 圧縮近代

- 欧米より20年後まで続いた「豊かな社会」  
    オイルショック後も5%成長 “Japan as No. 1”
- バブル崩壊後の「失われた20年」 1991・2-

人口学的背景 ← 圧縮近代

- 1970年代前半まで続いた人口ボーナス

ジェンダー的背景 ← 圧縮近代

- 1970年には欧米より高かった女子労働力率

# 社会政策の転換

- (1) ナショナルミニマムの成立 1945-1950s
- (2) 福祉拡大 1960s-1970s ワークフェア的
- ★1973＝福祉元年＝オイルショック
- (3) 改革と削減 1980s-
  - (3-1) 日本型福祉社会 家族主義改革
    - …日本の独自性を形成
  - (3-2) バブル崩壊後 ワークフェア無理に

# 1970-80年代に何が起きたか

- 福祉建設と削減が同時進行
- 経済的・人口学的好条件に支えられた  
家族主義的改革
- 1960年代のシステムを強化する復古主義
- 「自助努力と家庭および地域社会の連帯」
- 経済的・人口学的条件を文化的優位と解釈
- 大平内閣「家族基盤の充実」
- 「主婦の座」優遇策

# 1980年代のジェンダー政策

- 配偶者法定相続分の引き上げ(1980)
- サラリーマン家庭の主婦に保険料免除で年金権を保証する年金改革(1985)
- 配偶者特別控除の創設(1986)
  - 女性労働へのペナルティ 欧米と反対方向
- 男女雇用機会均等法(1985)
- 労働者派遣法(1986)
- →主婦/キャリアウーマン/非正規労働者に女性を3分割

# 日本の女性労働の転換点 1970年代以降パートタイマーのみ増加

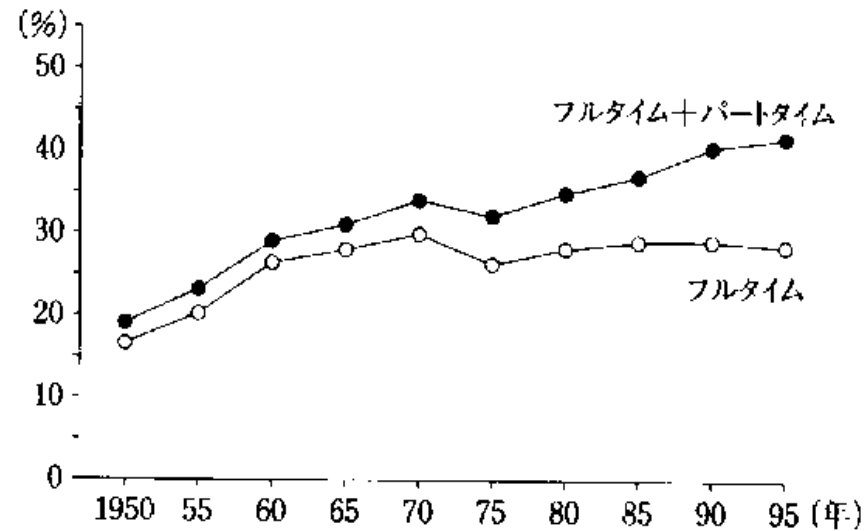


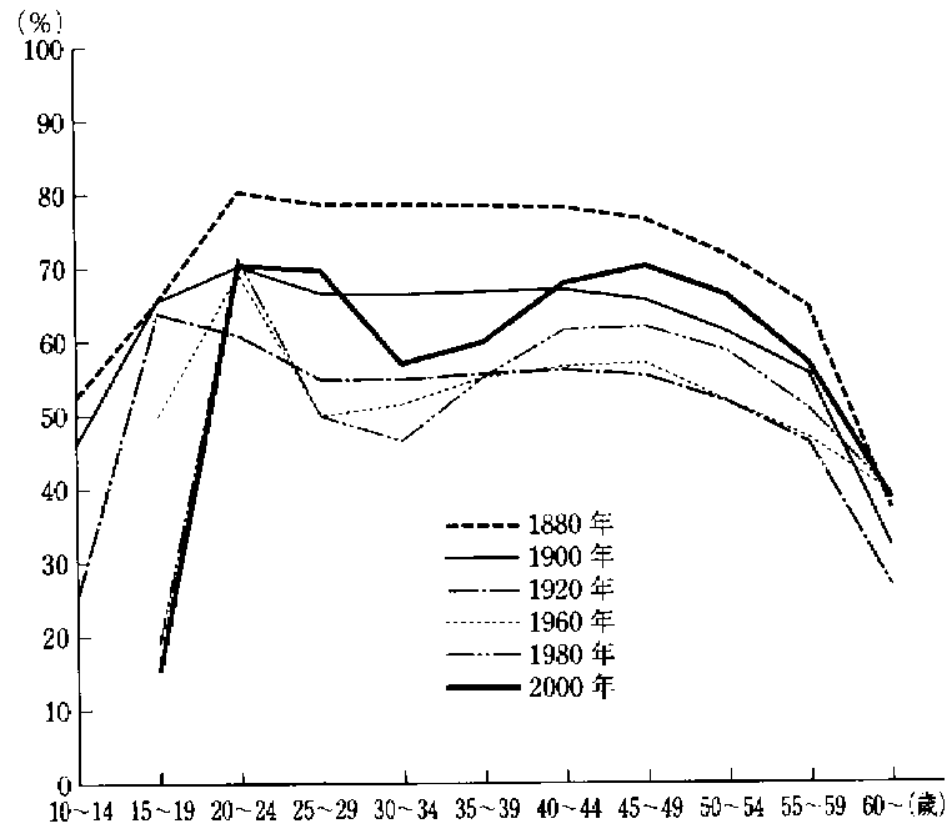
図6 日本における女性の市場労働部門内就業率の変化 (1951~95年)

総務庁統計局「労働力調査」(田中 1999).

\*  
市場労働部門内就業率 = 
$$\frac{\text{非農林雇用者数}}{\text{労働可能人口} - \text{自営数}}$$
  
= 
$$\frac{\text{非農林雇用者数}}{\text{無職者数} + \text{非農林雇用者数}}$$

# 日本の女性労働の長期的変化 M字型の出現と固定

図序-1 日本における年齢別女子労働力率の変化



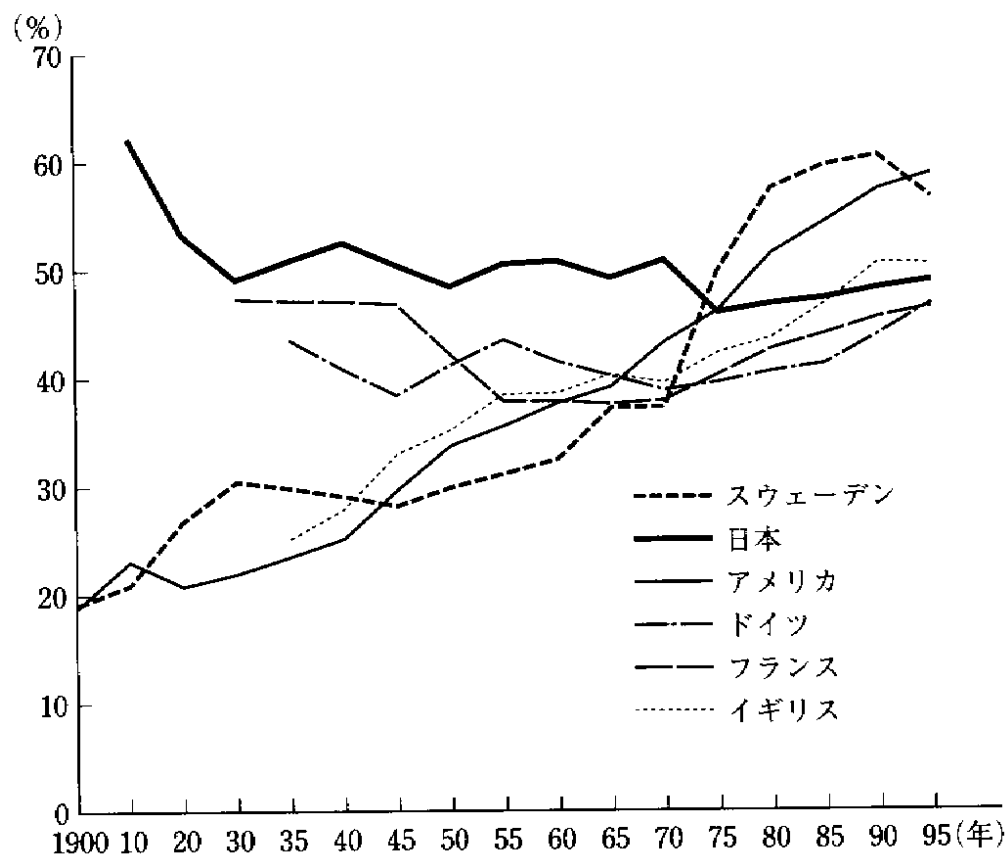
(資料) 梅村又次他『長期経済統計 2 労働力』1988年, 国立社会保障・人口問題研究所『人口の動向』2000年



# 女性労働の長期的変化：国際比較

## 1970年代以降、日本と欧米が逆転

図1-3 女子労働力率の長期変動(1900~1995年)

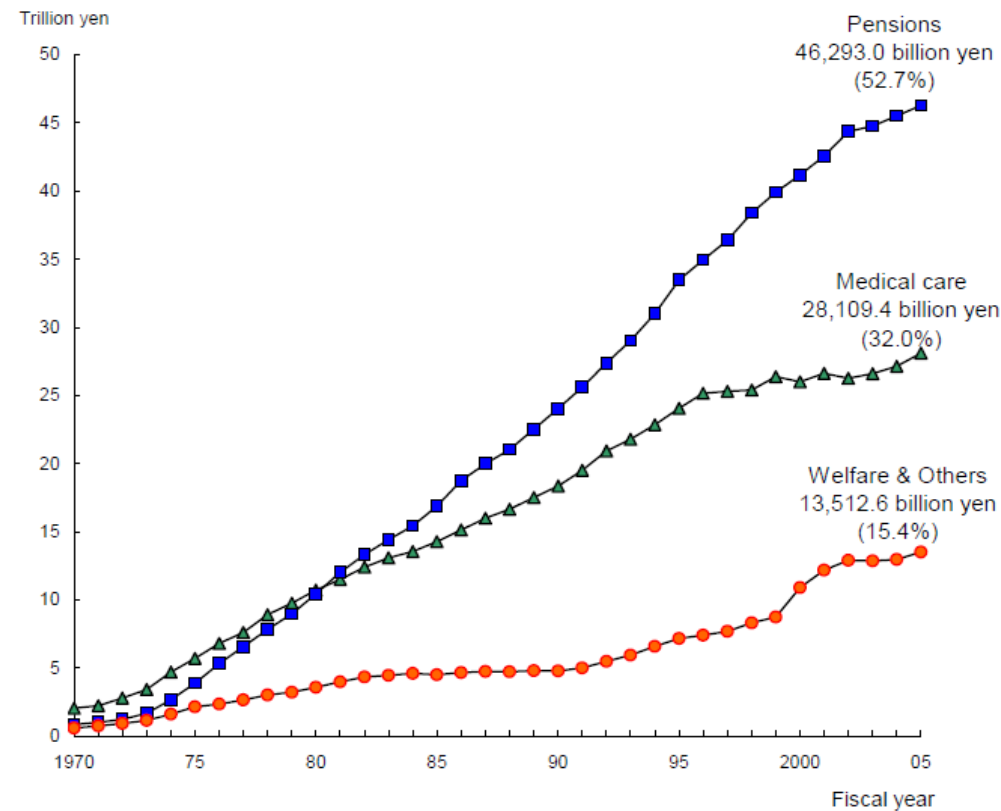


(出所) 経済企画庁「国民生活白書 平成9年版」図1-1-16

# 社会保障支出の構造

## 「福祉その他」の増加は緩慢 同時期に公共事業費増大

Figure 1 Social Security Expenditure by category, fiscal years 1970-2005



# 1990s-の家族・ジェンダー政策

## 相反する方向性が葛藤

- 1991・2年のバブル崩壊以降、1970年代欧米と類似した経済情勢が出現

家族政策 社会化の方向を打ち出す

- 介護に関して、ゴールドプラン(1989)、新ゴールドプラン(1994)、ゴールドプラン21(1999)、介護保険法(2001)
- 育児に関して、エンゼルプラン(1994)、新エンゼルプラン(1999)

ジェンダーバッシング ナショナリズムと関連

- ジェンダー＝非欧米圏の文化アイデンティティ

# アジアの社会変容と社会政策

## 韓国の例 (春木 2010)

### 経済的背景

- 通貨危機(1997)以来、未曾有の大不況
- 男性雇用の不安定化・既婚女性の労働力化

### 人口学的背景

- 超低出生率 1・08(2005)

### 政治的背景

- 盧ムヒョン政権の成立(2003)
- 女性運動

# 2000年代の社会政策

- 潜在的家族主義
- 明示的家族主義 母性保護関連3法(2001)
- 選択的家族主義 公的保育の拡大(2003-)
  
- 日本との違い
- 男性稼ぎ手モデルのより深刻な危機
- 政権党の政治的傾向
- 日本では80年代に家族主義改革で制度固定
- 韓国では少子化対策を経済発展と関連づけ

# アジアの福祉レジーム

国家による社会政策が不十分な地域  
他のセクターの役割に注目する必要

- 国家
  - 市場
  - 家族
  - コミュニティ
- 福祉トライアングル
- 福祉ダイヤモンド
-

# 育児の社会的ネットワーク

## Ochiai and Molony (2008)等

	母親	父親	親族	コミュニティ	家事労働者	施設
中国	A-	A	A	B	C	A
タイ	A	A	B	B	B	D
シンガポール	A-	B	A	C	A	A
台湾	A	B	A	C	B	C
韓国	A+	C	B	B	C	C
日本	A+	C	C	B	D	C

# 高齢者ケアの社会的ネットワーク

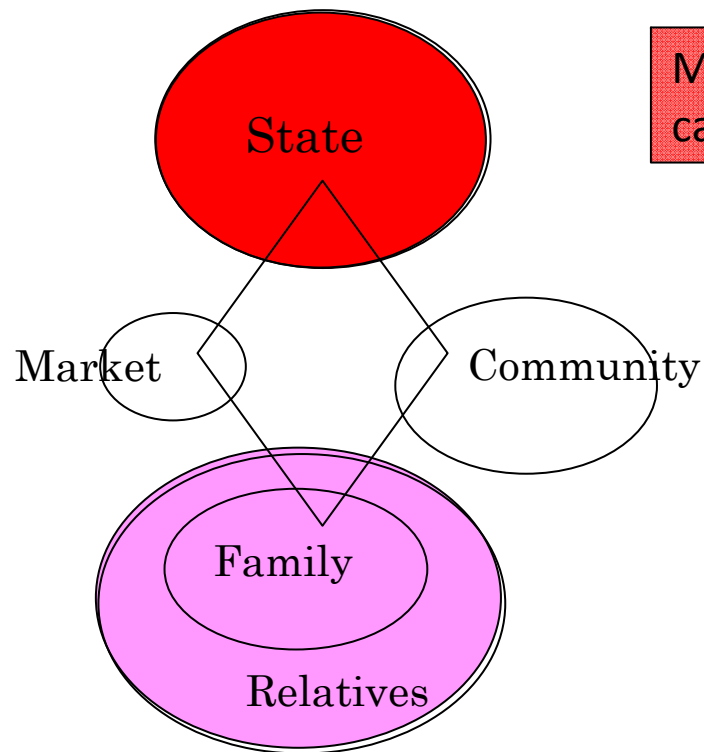
## 落合・山根・宮坂(2007)等

	子	子の配偶者	親族	コミュニティ	介護労働者	施設
中国	A	B	A	A	B	C
タイ	A	B	A	B	C	D
シンガポール	A	B	A	C	A	C
台湾	A	B	A	C	A	C
韓国	A	A	B	B	B	C
日本	A	A	C	C	D	B



# The Care Diamonds in China

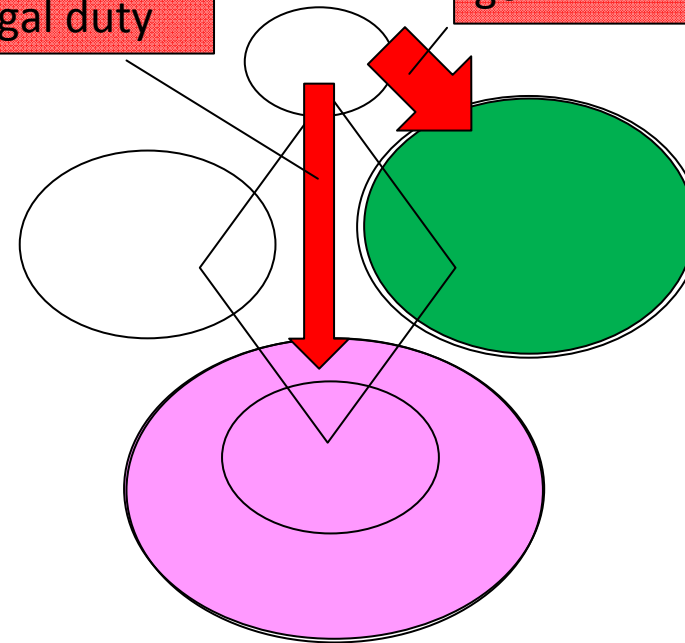
## Childcare



## Elderly Care

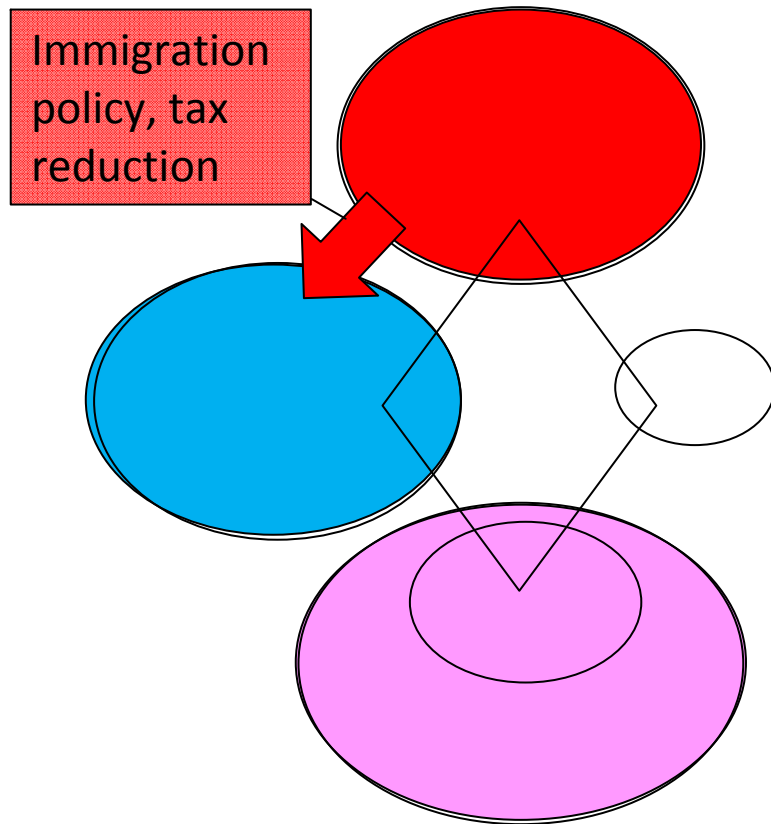
Making familial care as legal duty

Using community as unit of local gov.

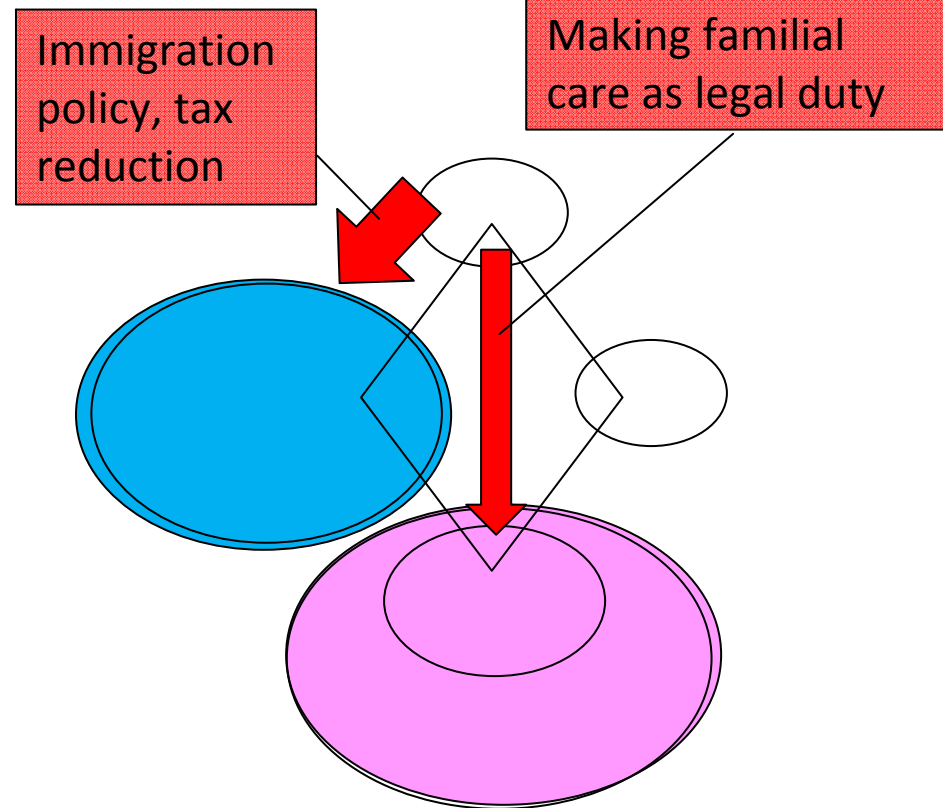


# The Care Diamonds in Singapore

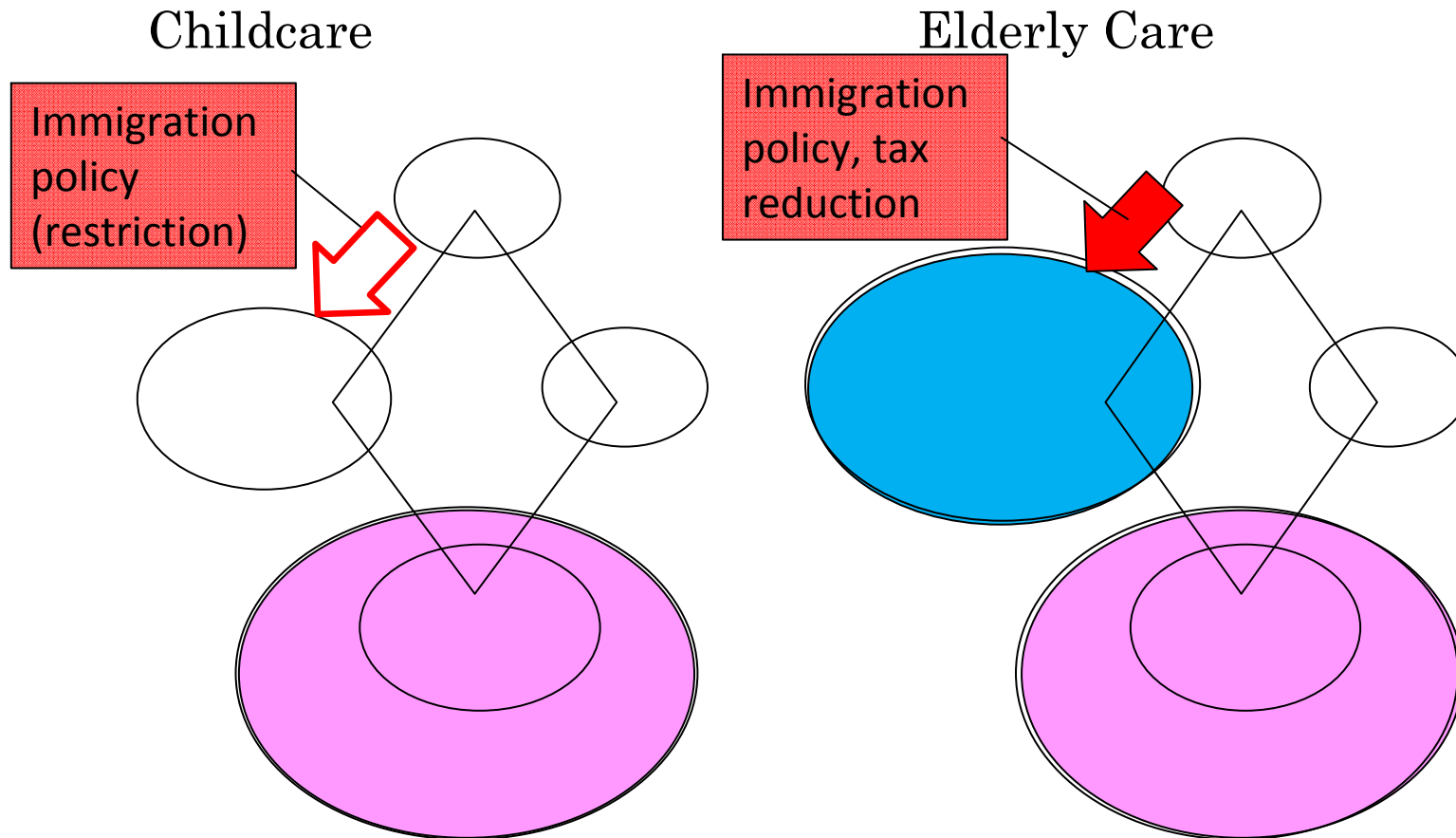
## Childcare



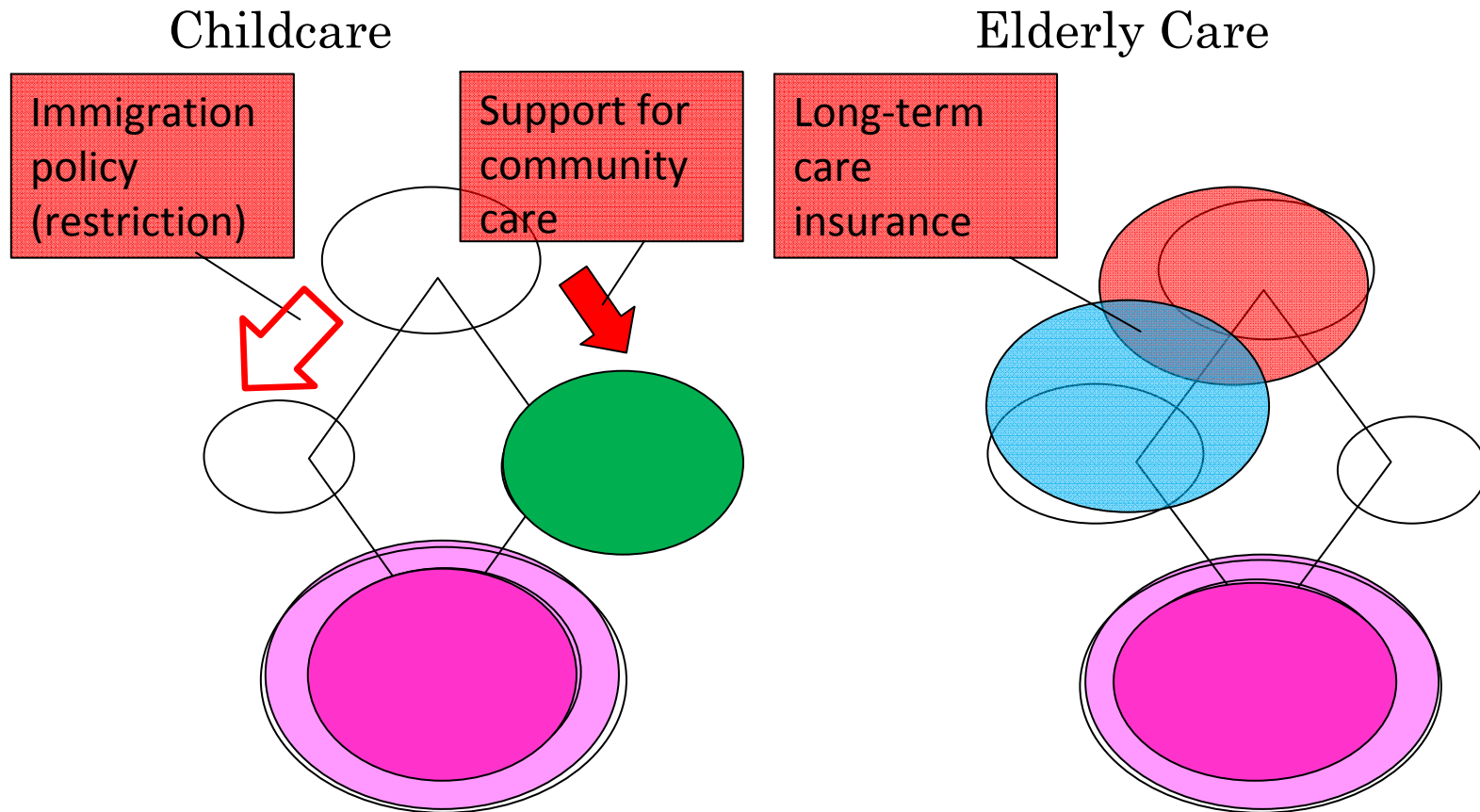
## Elderly Care



# The Care Diamonds in Taiwan

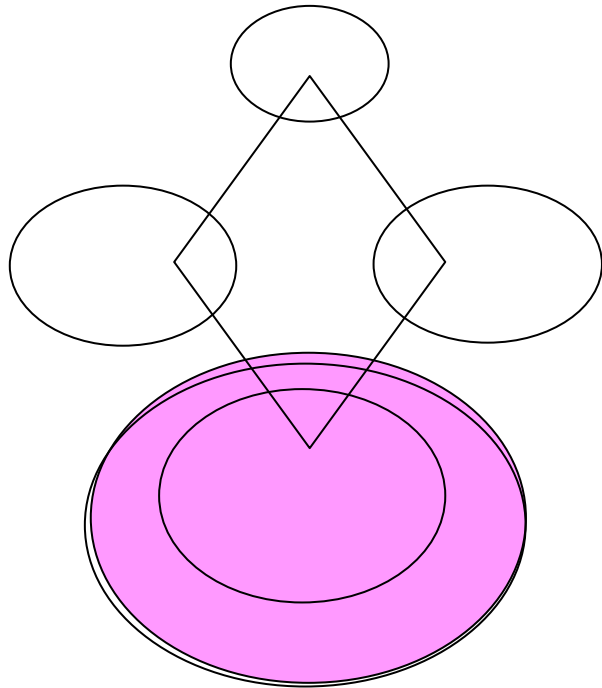


# The Care Diamonds in Japan

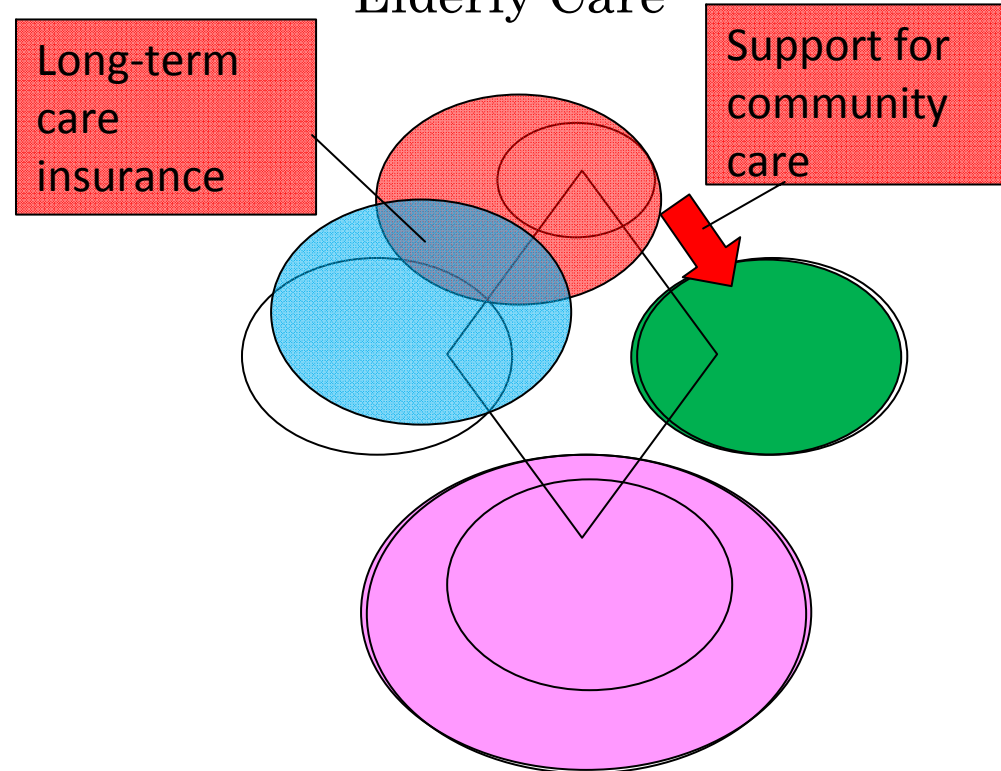


# The Care Diamonds in Korea

Childcare

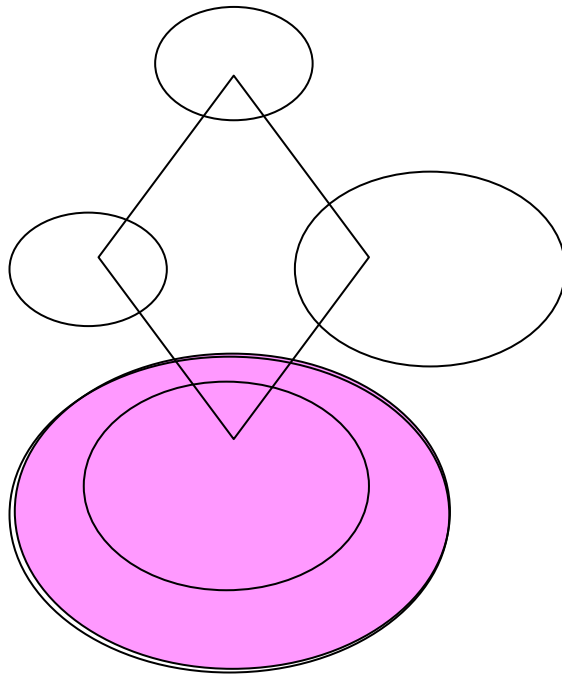


Elderly Care

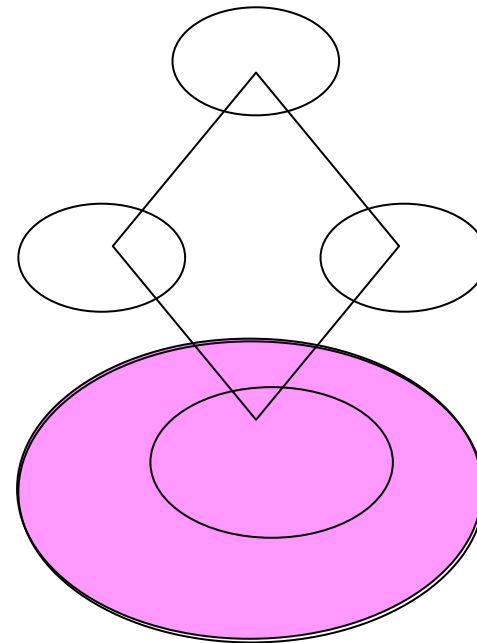


# The Care Diamonds in Thailand

Childcare

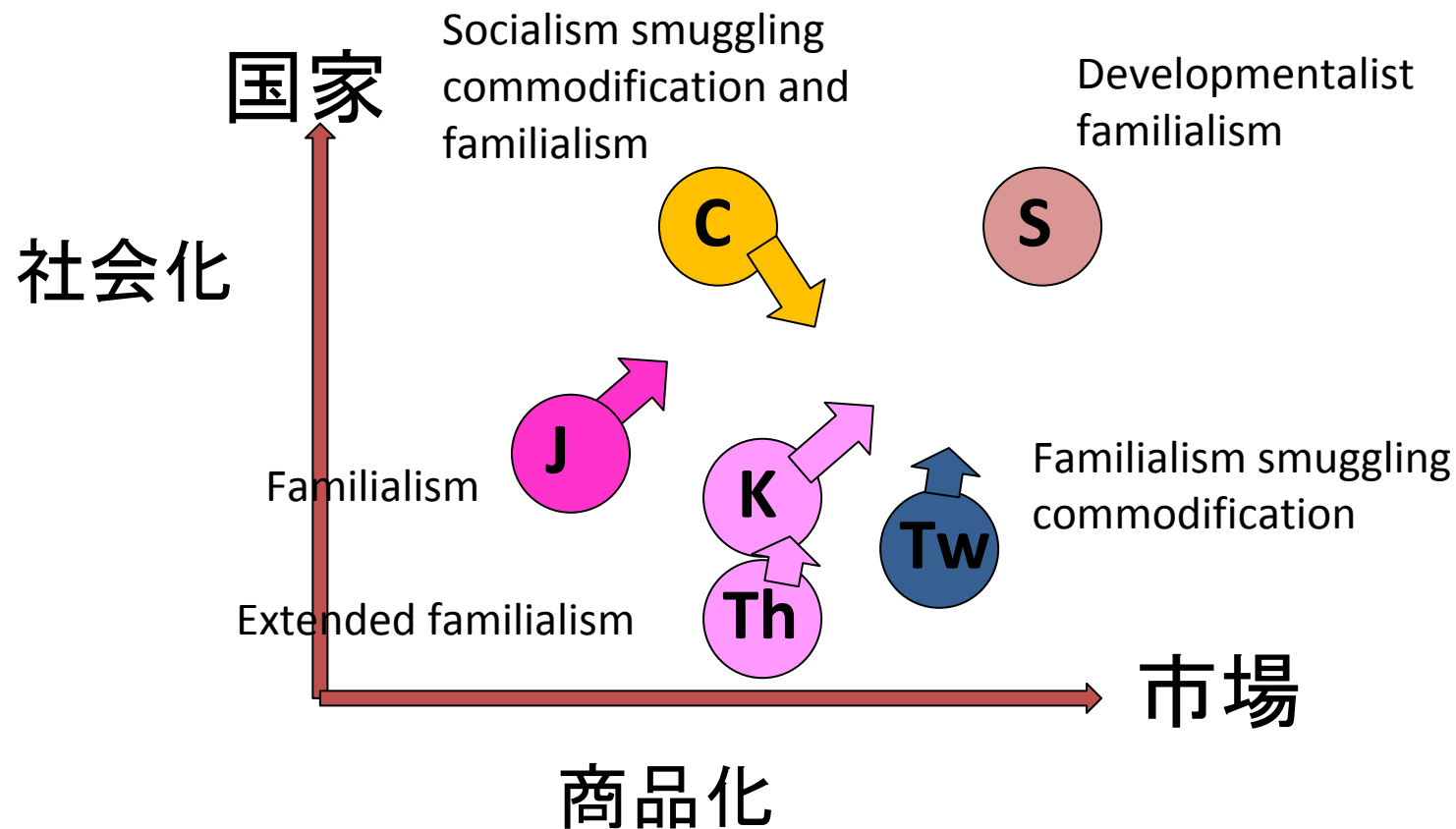


Elderly Care



# アジアにおける家族主義の多様性

## 脱家族化の二つの方向



# アジアのケアレジーム

- 市場の役割の大きさ 社会政策の不足を補う
- 市場によるケアの商品化は、ケアの供給を増やすが、ケアの費用負担は家族のまま
- 家族の負担は重く、出生率低下と家族危機
- 経済政策としての社会政策
- 家族セクターは家族・親族セクター
- 家族政策・社会政策のみでなく、移民政策（入国管理政策）、コミュニティ政策、家族による扶養義務の法制化など、広範囲の政策が関係



# ケアレジームの再編成

- 第1の近代  
親族＋家事使用人 → 主婦
- 第2の近代  
主婦 → 社会化＋市場化  
一部のヨーロッパ社会  
主婦 → 市場化(家事使用人の雇用等)  
アメリカ・日本以外のアジア  
主婦 → △社会化＋△市場化  
日本社会のケアレジームの貧しさ  
1980年代の家族主義固定

## 参考文献

- 落合恵美子・山根真理・宮坂靖子編『アジアの家族とジェンダー』勁草書房 2007
- 落合恵美子・上野加代子編『21世紀アジア家族』明石書店 2006
- Ochiai Emiko and Barbara Molony, *Asia's New Mother's*, Global Oriental, 2008
- 伊藤公雄・春木育美・金香男『現代韓国の家族政策』行路社
- Ochiai Emiko, *Reconstruction of Intimate and Public Spheres in Asian Modernity*, JIPS, 2010.